

ゆめ

さくら

# 夢咲楽

## ～和輪話通信～

目次	■和輪話隊(わわわ隊)の紹介……………1	■マスミLABOの情報モラルワンポイントアドバイス……3 「友だち探してSNSの巻」
	■わわわ隊の「め」……………2	■青少年センターの活動……………4



青少年センター全体事業「知ろう、作ろう、感じよう!農業&命を感じる体験～田んぼ、水辺が教室に～」では、5月に「田植え」、7月に「魚のつかみどり」そして9月に「稲刈り」を行いました。この農業体験に参加した子どもの保護者からは、「田植え・稲刈りを体験して、お米を残さずに食べるようになりました。」「子どもが後日通っている小学校での稲刈り体験で、同級生から「〇〇ちゃん稲刈り上手だね。」と言われたと報告してくれました。友達に認められてとてもうれしかったようです。」「なかなかできない体験なので、体験させていただいて良かったです。」などの声がありました。「魚のつかみどり」では、子どもたちは自分が捕った魚の内臓を取り、串焼きにして食べました。初めて魚の内臓を取る場面では、小刀を使いおっかなびっくりでしたが、命をいただく感謝の心を学びました。

わわわ隊 田代 眞澄



青少年センターの班活動について紹介します。  
今回は体験活動班です。

# わわわ隊の「め」

わわわ隊のしくみ

研修班

体験活動班

あいさつ巡回活動  
(全体活動)

ICT研究班

広報啓発班



## 「那須甲子の森でオリエンテーリング」取材

9月12日(土)、福島県にある「国立那須甲子青少年自然の家」に市内の小学生37名とわわわ隊、そして市内の中高生からなるボランティアクラブ「さくらリーダーズ」ともに行ってきました。

子どもたちは班に分かれ、施設敷地内にある建物や看板の一部の写真をヒントに探検しながらマップを完成させていくビジュアルオリエンテーリングと、白河和紙だるまの絵付け体験を行いました。

1つ目のビジュアルオリエンテーリングは、チームワークが重要です。子どもたちは、今日初めて出会ったばかりの班の仲間、最初は緊張したり、お互いのことが分からず意見が合わなかったりとなかなかうまくいきませんでした。ヒント写真と同じ風景を見つけると一気に気持ちがひとつになり、徐々に力を合わせられるようになりました。同じ目標に向かっていく中で、みんなを引っ張っていく子、周りを見渡せる子、低学年の子を気にかけてあげられる子など、班の中での役割分担ができていく様子を間近にみられました。

午後の和紙だるまの絵付け体験では、チームワークも生まれ、みんなでわきあいあいと楽しんで行うことができました。

わわわ隊 大河原 千晶 村上 佳彦



### どんなことをしているの？

みんなが体験を通して楽しく学ぶことができるようプログラムを企画しているよ。  
そして、実際にみんなとつしよにふれあいながら体験活動をしているよ。

ビジュアルオリエンテーリング編



今日初めて会ったばかりの班の仲間。お互い息がなかなか合わないなあ…。



みんなでがんばったあとのお弁当は、格別だね(〇^)



午後からは、福島特産和紙だるまの絵付け体験。

絵付け体験編

# マズミLABOの ICTワンポイントアドバイス



## 友達探しでSNSの巻



SNSで知り合った人と会ったら、怖い目に遭いそうになってしまったんです。

それは災難でしたね…。とにかく無事でよかったです。最近は友達を探すツールとして、SNSやゲームを用いる場合が増えてきました。しかし、インターネット上での自己紹介が本当だとは限りません。中には同性を装って近づき、思わぬ犯罪被害に遭ってしまう可能性もあるんです。SNS上でのプロフィールを簡単に信じないことが大切です。



このようなSNSやゲームを使った交流から興味本位で相手に会ってしまい、思わぬ犯罪に巻き込まれるケースは、出会い系サイトを使った犯罪よりも増加しています。インターネット上で知り合った人から個人情報(名前や連絡先、学校名など)を聞かれたら、簡単に教えないようにしましょう。また、SNSのみでなく、アンケートや占いなどのサイトでも出会い系に誘導されるケースもあります。閲覧するサイトにも注意するようにしましょう。

### 保護者の方へ

インターネット上では不特定多数の人間とコミュニケーションをとることが容易にできます。携帯電話会社のそのようなサイトへのフィルタリングサービスはありますが、完全に情報をシャットアウトすることは難しいです。日ごろから子どもの交際範囲に注意を払い、もし個人情報を聞かれるようなことがあったら、すぐに保護者に相談するというルールを徹底して守らせましょう。



心豊かな青少年を育む

# 県民のつどい in さくら市

期日 平成27年11月28日(土) 13:30～16:00

会場 氏家公民館

司会 栃木県立さくら清修高等学校 放送部

内容 第1部 開会行事

第65回社会を明るくする運動作文コンテスト優秀者作文発表

第38回栃木県少年の主張発表県大会最優秀受賞者主張発表

第2部 喜連川公方太鼓さくら 演奏

第3部 講演会「生きるメッセージ」

講師：ちばてつや氏(漫画家・文星芸術大学教授)

※県民のつどいは、例年行っている「さくら市の子どもを考える会」(和輪話の会)講演会を兼ねています。

心豊かな青少年を育む  
県民のつどい  
in さくら市

漫画家・文星芸術大学教授  
ちばてつや氏講演会  
漫画家ちばてつや  
「生きるメッセージ」

平成27年  
11月28日(土)  
開場 13:00 / 開会 13:30 / 閉会 16:00

さくら市氏家公民館 入場無料  
さくら市 氏家1322-8 TEL028-662-1611

プログラム  
司会 栃木県立さくら清修高等学校 放送部

第1部 開会行事  
第65回社会を明るくする運動作文コンテスト優秀者作文発表  
第38回栃木県少年の主張発表県大会最優秀受賞者主張発表

第2部 喜連川公方太鼓さくら 演奏

第3部 講演会  
ちばてつや氏講演会  
\*SDG15 生態系の保護 目標設定コンテスト作品発表  
\*さくら市の子どもを考える会実行委員会 主催

お問い合わせ 山形県山形市下町2-1-1 山形県青少年センター 生涯学習課 TEL 023-643-1000 URL <http://www.city.yamagata.lg.jp>  
さくら市青少年センター 生涯学習課 TEL 028-662-6900 URL <http://www.city.sakura.lg.jp>

## 少年指導員会「愛称:わわわ隊」活動報告

少年指導員全体研修として、9月29日(火)喜連川公民館において、福島地区及び二本松地区少年警察ボランティア会(総勢35名)と情報交換を行いました。



グループに分かれて情報交換



集合写真撮影

### あとがき

今回のわわわ通信は、体験活動班の特集です。ノーベル賞を受賞した大村智さんは、以前インタビューの中で、学校の授業だけでなく、子どもの時から農作業を手伝い「農業は科学に通じる。実験の段取りや予測に役立ったと思う。」また、どんな教育が第二の大村さんを育てるかの問いに「第一は親が勉強すること。良いことをやってみせること。」と言っていました。

体験することの大切さをあらためて実感しました。わわわ隊も良い手本となり、これからも子どもたちを見守り育てていきます。

わわわ隊 福田 克之

### 「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

### ■ 広報啓発班

飯島 満 ・ 田代 眞澄 ・ 大河原 千晶 ・ 岡村 浩雅 ・ 福田 克之 ・ 村上 佳彦



さくら市の子どもを  
みんなで育てよう

第3日曜は  
家庭の日

ゆめさくら わわわ通信  
夢咲楽～和輪話通信～ 第27号  
発行日 平成27年11月15日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1  
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368  
電子メール syogaigakusy@city.tochigi-sakura.lg.jp  
市ホームページ <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp>